

□ 要請番号 (JL63618A05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ルワンダ	A101 コミュニティ開発		個別	新規	2年	・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

地方自治省

2) 配属機関名 (日本語)

東部県カヨンザ郡カバロンドセクター事務所

3) 任地 (東部県カヨンザ郡カバロンド) JICA事務所の所在地 (キガリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

東部県カヨンザ郡には、行政単位である「セクター」が12個あり、カバロンドセクターはそのうちのひとつである。セクター事務所は、市民サービス課、社会福祉課、農業課、会計課で構成されていて、住民の生活全般に対する各種サービスを提供している。ボランティアがかかわる農業課では、野菜の栽培やコーヒーの栽培など多岐にわたる活動を実施している。同セクター事務所には、現在までに「水の防衛隊」のコミュニティ開発JV(青年海外協力隊)が4代派遣されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同郡の人口の95%は農業従事者であり、低湿地を中心に野菜栽培・稲作が営まれている。栽培可能面積は約400haで、首都キガリへのアクセスが良いことから、農産物の生産地として近年農業開発が進んでいる。しかし、東部県は、コーヒーの栽培に関しては、他の地域に比べて収量・品質ともに遅れをとっているため、住民の意識が低い。また、同地域は個人農家が多く、生産量の大幅増を見込めないのが現状である。コーヒー豆は換金作物として重宝され、栽培農家も増えているが、多くがコーヒー豆の品質・味に関する知識を持たず、また栽培技術も未発達のため、品質・収量ともに改善が求められている。また、コーヒーの収量・品質向上を目指した啓発活動の実施についても期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

地域の生活の実態を調査する。その上でボランティアの特性に合わせて以下の活動を行う。

1. コーヒー農家を訪問し、栽培状況や改善点を把握する。
2. コーヒー農家をサポートするとともに独自にパイロットファームにおけるコーヒー栽培を支援する。
3. コーヒーの収量・品質向上を目指しコーヒー農家・組合へはたらきかける。
4. 同郡の農業技官へ活動報告を随時行う。
5. 必要に応じて農業及びコーヒー関連JICA事業との情報共有を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所(机・椅子)

4) 配属先同僚及び活動対象者

セクター農業技官
 コーヒー組合関係者
 コーヒー農家

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]： () [学歴]： () 備考：

[性別]： () 備考： [経験]： () 備考：

[参考情報]：

- ・ 農村地域の生活改善に関する知識や経験又はコーヒー栽培や加工に関する知識や経験

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]： (サバナ気候) 気温： (13～30℃位) [電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水道]： (不安定)

【特記事項】

JICAの判断により訓練言語をフランス語に変更する場合があります。
活動場所であるコーヒー畑には蜂がいる可能性があるため、エビペン持参が望ましい。